

五省会ニュース

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930 富山市五福1130
 TEL (0764) 41-2481(代)
 発行人 西能 正一郎

五省
 一 至誠に悔むなかりしか
 一 言行に恥づるなかりしか
 一 気力に欠くるなかりしか
 一 努力に憾みなかりしか
 一 不精に負るなかりしか

病院の理念、十分な説明と同意、食事の快適性も

高評価の画像診断、リハビリ部門

＝日本医療機能評価機構の審査結果報告書から＝

九月に財団法人・日本医療機能評価機構から「質の高い病院」の認定証を受けた西能病院に、追って詳細な病院機能評価の審査結果報告書が送られてきた。それによると、高く評価されたのは、画像診断部門やリハビリテーション部門の充実、そして内外に周知されている病院の理念、食事の快適性などである。診療、看護領域の各項目は、すべてが基準の③以上をクリア、地域ニーズの反映では九項目がオール④の適切判定を受けた。病院では、この評価によって明らかにした問題を改善すると共に、さらに患者サービスの質の向上を図ることになっている。

外来待ち時間の改善を

診療、看護部門は 基準をクリア



受付に掲げられた認定証額

評価判定の要は六領域(六十九項目)で、その内訳はつぎのとおり。各項目に①～⑤の五段階の「*」印がふられ、数の多いほど評価が高かったことになる。

- 一、病院の理念と組織的基盤(九項目)
- 二、地域ニーズの反映(九項目)
- 三、診療の質の確保(十七項目)
- 四、看護の適切な提供(十項目)
- 五、患者の満足と安心(十五項目)
- 六、病院運営管理の合理性(九項目)

認定証は十八病院に

全国で三十四病院が受審

日本医療機能評価機構は、厚生省、日本医師会など十三団体が出席して設立された第三者チェック機関で、今年度から評価活動を始めたのは十八病院となっている。西能病院は北陸地方で初の認定病院となった。

各項目の判定結果は⑤(極めて適切)が五、④(適切)が三十七、③(中間)が二十三、②(適切でない)が四であった。

⑤の評価判定はつぎの五項目である。

- ① 病院の理念・基本方針が内外に周知されている▽画像診断部門が適切に機能している▽リハビリテーション
- ② 一方、改善を要する項目は▽外来待ち時間▽人事・労務管理▽医療統計▽患者の医療事故への対応など、病院運営管理の合理性を指摘している。

部門が適切に運営されている▽十分な説明と同意に基づいて医療が実施されている▽食事の快適性に配慮している

一方、改善を要する②の項目は▽外来待ち時間▽人事・労務管理▽医療統計▽患者の医療事故への対応など、病院運営管理の合理性を指摘している。

総括

報告書はつぎのように総括している。

広報紙には理事長および院長の医療に取り組みされる積極的な姿勢が示されている。健全な運営がなされていることは、トップの姿勢が職員に浸透していることと評価できる。

組織図の作成を「病院の理念と組織的基盤」

病院の理念・基本方針は明確で内外に周知され、組織的基盤も一応整備されている。ただし病院組織と管理体制の実態がわかりにくく、外部からもよくわかるように組織図の作成を望みたい。

役割りを認識

「地域ニーズの反映」

職員が地域における役割を明確に認識しており、地域の他の医療機関との連携にも積極的に取り組んでいる。地域に根ざした病院の成果が示されており、高く評価したい。

機能を最大限に

「診療の質の確保」

自院の診療機能を地域において最大限に発揮すべく、多岐にわたる努力が認められる。画像診断部門やリハビリテーション部門の充実が高く評価される。今後のさらなる向上

「看護の適切な提供」

おおむね適切な状況にあると思われる。理念が確立され、組織的にもしっかりしているように見受けられる。今後、業務の見直しや他部門との連携を進め、看護ケアの向上にさらに努力されたい。なお、夜勤体制についても業務量の分析などを通して見直しを含め検討を期待したい。

患者尊重の姿勢が

「患者の満足と安心」

患者に対する配慮が随所に見られる。とくに診療場面での患者尊重の姿勢には優れた配慮がある。院内環境も適切に保たれており、全般的に配慮が行き届いているといえよう。

職員の努力でカバー

「病院運営管理の合理性」

実質的には職員の努力や工夫でカバーされている。医師と看護婦の適正配置の工夫が業務量に対して存在すると思われる。業務の見直しや業務量の分析をするなかで適正な配慮を検討されたい。

あすなろ

最近「孤食」という言葉をよく聞く。文字通り「独りで食べる」ことだが、生活様式の変化が生んだ一現象だろう。単独赴任や進学による一人住まいだけでなく、一般家庭でも、朝食抜きや夫婦親子の食事時間がまちまちで不規則な孤食が増えている▼自然に、栄養のバランスが崩れ、カロリー過多や偏食を生み、肥満や高血圧、コレステロールなど成人病の要因にもなっている。とくに子供の場合は深刻だ。スナックとか、インスタント食品、加工食品...とかに頼って、好きなものばかり食べている。いつまでも食べている「だらだら食い」など、飽食の時代というのに逆に栄養障害が増えている▼そこで、文部省では「食育」とか「食教育」を学校教育にとり入れることを考えている。しかし、学校教育だけではだめで、家庭の食生活も考え直す必要がある。食事時間の調整、学校給食との内容のバランス、親子そろっての買い物や食事づくり...など、いろいろ工夫がいる▼先日、テレビを見てみると、ある幼稚園で、先生が園児に、白あえや、ひじきなどの料理をにぎやかに教えていた。地方の伝統料理を子供に伝えるのも親の役目だ。このままでは成人病予備軍を増やし医療費増大につながるが、要は、いかに家庭で楽しく食事をし、一家団らんのある場をつくるか、ということだろう。

認定病院の指定を受けて

西能 竑

九月十一日、すばらしいニュースが入りました。日本医療機能評価機構より、当院が認定されたという通知である。

厚生省や日本医師会が設立した、日本医療機能評価機構は、今年度より全国の医療機関

一層の整備と患者サービスに努力

誇りを持って名に恥じない医療活動を

に対して、機能評価受審の募集をはじめた。開院三十五周年を迎えた我が病院の医療レベルを評価して頂き、今後の改善目標を確認する良い機会であると考え、早速本年一月、評価依頼の申請をした。

この機能評価は、書面審査と、訪問審査の二段階で行われ、もちろん有料である。送られてきた書面審査の調査項目は、膨大な

もので、まずは、病院の理念、目標をはじめ、経営状態や病院の組織と管理体制のチェック、地域医療活動の状況、医療の質とサービスの確保、医療環境と患者の安全性、さらには、病院運営管理の合理性など百数十項目に及ぶものであった。

訪問審査は六月二十四日に行われ、病院長、看護部長、事務部長をそれぞれ経験した三名のサーパーバイザー(審査員)が来院され、午前は面接方式で、午後は院内各部署の現場調査が入念に行われた。これらの審査結果に基づき、最終的な審査委員会で認定の可否が判定されるしくみであり、かなりの時間が必要である。

やがて、第一次の八病院の認定が公表された。待つこと久しく、平成九年九月九日付で第二次

がたいことである。しかし審査結果報告書には、さらなる改善目標が提案されており、一層の病院の整備と患者サービスの向上に努力が必要である。医療の質を高め、患者さまに喜ばれる、認定病院の名に恥じない医療活動を継続していきたいと考えている。

結果では、総合的に合格の判定を受けたことにより、職員一同誇りを持って仕事に取り組み、取り組むことにはあり

の四病院の認定が決まり、当院も、その中の一病院として名を連ねていた。北陸、いや本州日本海側での最初の認定病院であり、すばらしい快挙となった。

開院以来三十五年間、「信頼と奉仕」の理念のもとに、診療を行い、多くの患者さまのご利用を頂いてきたが、今回の病院機能評価の結果で、

認定病院の認定が公表された。

認定病院の名に恥じない医療活動を継続していき

たいと考えている。

愛される病院を 地域住民の医療に関する意識調査から

西能病院広報委員会が富山市五福、桜谷、神明の三地区で行った地域住民の医療に関する意識調査。回答（無記名、十六問）があつた七百七十人（うち女性四百四十二人）の主な結果と考察。

人間ドックやスポーツ整形外科も上位に

休日診療が最高の61%

一病院の高度医療機器や治療行為を知っていますか？

問 西能病院には次の高度医療機器や治療行為を行っています。ご存知の項目に○印をお付け下さい。（回答数の累計二千七百四十七人）

- ①カッコ内は女性
- ①日曜も祭日も診療している四百七十四人（二百九十八人）
- ②富山市健康審査を受けられる三百六十七人（二百三十一人）
- ③人間ドックが受けられる二百九十二人（百六十八人）
- ④スポーツ整形外科がある二百六十四人（百五十七人）
- ⑤CTスキャンの設備がある二百二十五人（百二十四人）
- ⑥骨密度測定が出来る百八十一人（百二十四人）
- ⑦毎月健康教室が開かれている百七十七人（百一十一人）
- ⑧MRIの設備がある百五十九人（九十九人）
- ⑨介護用品の展示販売を行っている百四十五人（百四人）
- ⑩糖尿病スクーリングがある百四十一人（八十九人）
- ⑪体力測定室がある百三十三人（七十九人）
- ⑫予防接種の指定病院である八十四人（五十一人）
- ⑬タワークリニック（インテックビル）を開設している

朝礼



私は私生活のことで落ちこんだりする事を、一度位は経験されていることと存じます。先日、私はある本で「笑い」は落ちこんだ時の

みなさんは日頃、仕事や家庭のこと、ある



笑いで身も心も健やかに

ず、厭な出来事も笑い飛ばす心の余裕を持ち合せているそうです。一方、生理学的に笑う行為は、副交感神経の働きをたかめ、唾液・胃液等の分泌を強め、消化、吸収をよくし精神をリフレッシュさせます。

昔から「笑う門には福来たる」の諺の如く、笑えば笑う程、身も心も健やかにになり、当然、幸福も近寄ってきます。笑いにも、談笑、爆笑、は、簡単にはへこたれ

る七十四人（五十二人）

⑭訪問診療、訪問看護を行っている五十一人（三十三人）

特別養護老人ホーム 高齢者のための医療・福祉施設は

問 あなたの住んでいる地域に不足している高齢者のための医療施設・福祉施設は何でしょうか。二つお選び下さい。（回答数の累計二千二百三十五人）

- ①カッコ内は女性
- ①特別養護老人ホーム
- ②特別養護老人ホーム
- ③老人福祉センター
- ④老人福祉センター
- ⑤老人福祉センター
- ⑥老人福祉センター
- ⑦老人福祉センター
- ⑧老人福祉センター
- ⑨老人福祉センター
- ⑩老人福祉センター
- ⑪老人福祉センター
- ⑫老人福祉センター
- ⑬老人福祉センター
- ⑭老人福祉センター
- ⑮老人福祉センター
- ⑯老人福祉センター
- ⑰老人福祉センター
- ⑱老人福祉センター
- ⑲老人福祉センター
- ⑳老人福祉センター

病院だより

十月

十八日〜十九日 職員旅行の第三班が信州（湯田中温泉など）へ。二十三日 互助会ボウリング大会を真羽ボウルで。二十四日〜二十六日 第四十五回秋季北信越大学男女バレーボール選手権大会（県総合体育センター）に救護班を派遣。

十一月

十五日〜十七日 職員旅行の第四班が長崎市へ。十九日 五階ホールで健康教室。五艘有紀子医師が「高血圧について」

あまり知られていない方では、「訪問診療、訪問看護を行っている」が7%、「タワークリニックを開設している」が10%となっている。

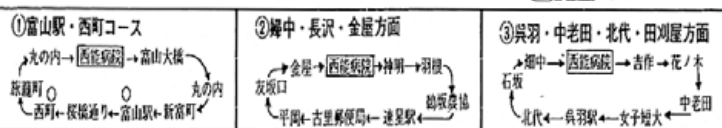
十二月

四日 病院玄関前の愛の献血車（県赤十字血液センター）で献血。十八日 五階ホールで健康教室。中田医師が「かぜと漢方薬」。二十一日 第九回院内研究発表会を五階ホールで。二十一日 忘年会を名鉄トヤマホテルで。活動する運動部

診療体制のご案内



通院バスのご案内



休日診療 (日曜日・祝日)	平日診療 (月曜日～土曜日)	スポーツ整形外科 水・土曜日 午後 4:00～7:00	泌尿器科外来 月曜日 午後 1:30～5:00	人間ドック 日帰りコース 1泊2日コース 2泊3日コース 3泊4日コース (申込先) 健康事業部 8:30～17:30
整形外科 午前 8:30～12:00 午後 4:00～7:00	整形外科 午前 8:30～12:00 午後 4:00～7:00	糖尿病外来 火・金曜日 午前 9:00～12:00	神経内科外来 土曜日 午前 9:00～12:00	体力測定 月～金曜日 午前 10:00～12:00 午後 2:00～5:00 (申込先) 健康事業部
内科 午前 8:30～12:00 午後 3:00～5:00 (火・金曜日は7:00)	内科 午前 8:30～12:00 午後 3:00～5:00 (火・金曜日は7:00)	循環器外来 火・木曜日 午前 8:30～12:00	麻酔科外来 月・水・金曜日 午前 8:30～12:00	栄養指導 月曜日～土曜日 午前 10:00～11:00 在宅診療・看護 月・金曜日 午後 1:30～4:00
リハビリテーション科 午前 8:30～12:00 午後 1:30～7:00	リハビリテーション科 午前 8:30～12:00 午後 1:30～7:00			

午前8時30分～午後5時